

# 平成25年度施策評価表

作成年月 平成26年8月

分野名(章)	安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	分野(章)番号	4
政策名(項)	防災・防犯対策の充実	政策(項)番号	VII
施策名(目)	防犯体制の充実	施策(目)番号	③
担当課	町民税務課 (関係課 総務課)	担当課長	引地 敏之

## 1. 施策の基本方針

施策目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災・防犯対策の充実を目指すため、防犯に対する知識と思想の普及により、犯罪の起こらない社会を実現することを目的とする。</li> <li>・また、消費者保護に関しては、地域内で情報を共有していくとともに、町は、地域で解決できない問題に対しサポートを行っていくことを目的とする。</li> </ul>
------	---

## 2. 施策の現状分析

施策の概況	施策に対するニーズ等(具体的事項)		施策を取り巻く環境(社会環境, 国・県の動向等)					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、弱者に対する犯罪、特に自転車等の盗難が急増していたが、防犯パトロールの強化等を継続的に実施した結果、犯罪件数、自転車の盗難件数が減少傾向に転じた。</li> <li>・また、多重債務問題をはじめとする消費者相談件数は目標件数に迫っており、宮城県から町に対して、消費生活に関する相談窓口設置の要請が出されている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年、小中学生や高齢者などの弱者を狙った犯罪、小中学生が加害者となる犯罪が増えている。また、社会が複雑化することにより、多重債務に関する相談や飼い犬・飼い猫に対する相談等多様化している。</li> <li>・このような状況から国民・県民・町民を守るため、各種の事業を展開している。</li> </ul>					

  

施策指標(成果指標)	指標の内容	達成度(上段:目標 下段:実績)							
		H23	H24	H25	H26	H27	H27目標	備考(他団体状況含む)	
主要	年間の犯罪発生件数	目標			100件	100件	100件	100件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・角田市192件(前年比+14件)</li> <li>・亶理町172件(前年比+9件)</li> <li>・山元町54件(前年比+10件)</li> </ul>
		実績	83件	51件	69件				
		達成率			69%				
参考①	自転車等の盗難	目標			40件	40件	40件	40件	
		実績	13件	12件	6件				
		達成率			15%				
参考②	消費生活相談件数	目標			100件	100件	100件	100件	県の消費生活センターに対する相談件数
		実績	133件	84件	94件				
		達成率			94%				
参考③		目標							
		実績							
		達成率							
参考④		目標							
		実績							
		達成率							

## 3. コストの推移(行政資源投入の状況)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度	平成27年度
		(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(当初予算)	(見込み)
事業費		13,443千円	5,107千円	4,987千円	5,264千円	5,718千円	5,718千円
財源内訳	国庫支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	(うち過疎債)	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	その他特定財源	9,400千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	4,043千円	5,107千円	4,987千円	5,264千円	5,718千円	5,718千円
従事者数	正職員	0.82人/年	1.03人/年	1.21人/年	1.18人/年	0.84人/年	0.84人/年
	臨時職員	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年	0.00人/年
人件費	正職員	5,521千円	7,023千円	8,216千円	8,012千円	5,703千円	5,703千円
	臨時職員	千円	千円	千円	千円	千円	千円
退職給与引当金		711千円	963千円	1,100千円	1,073千円	765千円	765千円
トータルコスト		19,675千円	13,093千円	14,303千円	14,349千円	12,186千円	12,186千円

4. 施策の評価

有効性の評価	施策成果の達成度	b	a達成度は非常に高い b達成度はやや高い c達成度はやや低い d達成度は低い
	[説明]		・防犯協会や防犯ボランティア等が定期的パトロールを継続的に実施したが、犯罪の発生件数は前年対比で18件増加している。自転車等の盗難件数は前年度と比較して減少傾向を確保している。消費生活相談件数は目標件数を下回っている。
	施策成果向上の可能性	b	a可能性は十分ある bある程度可能である c可能性はあまりない d可能性はない
	[説明]		・犯罪の発生を未然に防ぐには、日頃のパトロールが重要である。しかし、司法のパトロールには限界がある。家庭、学校、地域、防犯協会、各種防犯ボランティアが協力・連携して犯罪防止活動を行うことにより、施策成果達成の可能性はある。
	貢献度	a	a貢献度は非常に高い b貢献度はやや高い c貢献度はやや低い d貢献度は低い
[説明]		・犯罪を出さない、つぐない環境づくりや金銭的トラブルなどから身を守るという体制づくりを行うことが、非常に重要である。罪を犯した者が社会復帰できるような支援組織も用意されている。生命・身体・財産という基本権を、犯罪や金銭的トラブル等から守るという意味で、その貢献度は非常に高いといえる。	

5. 施策の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害者や加害者とならないための住民意識の高揚（家庭、学校、会社、地域における学習、教育）</li> <li>・多重債務など消費生活相談件数が目標件数に迫っている。</li> <li>・消費者生活相談窓口の拡充。</li> </ul>
----	--

6. 施策の方向性

総合評価	この施策の事業費を「維持」して取り組んでいく	次年度以降方針	・本施策は、人の生命・身体・財産を守るという面で、非常に重要な施策である。また、本施策は、すべてソフト事業で構成している。このようなことから、多額の事業費投入が必ずしも施策目的を達成につながるものではない。したがって、各団体の活動を支援・強化しながら現状維持とする。
------	------------------------	---------	---

【総合評価】 拡大、維持、縮小

なお、「総合評価」については、H26の事業費とH27の事業費を比較したのみの評価となりますので、「次年度以降方針」の内容とは異なる場合があります。  
必ずしもこの事業費の比較の評価が事業内容に繋がるとは限りません。